

**令和 3 年度（2021 年度）
福祉なんでも相談窓口
事業報告**

令和3年度福祉なんでも相談窓口の事業実績

■ 相談件数（実人数）

	R2	R3
相談実人数（人）	2,771	3,003
相談のべ件数（件）	6,987	7,456

■ 相談内容内訳（実件数・重複あり）

相談の内容	R2		R3	
	件数	割合	件数	割合
経済的困窮（借金・債務、経済的困窮）	65	5.2%	406	8.1%
精神障害（精神障害、依存症、自殺企図）	155	12.3%	287	5.7%
ひきこもり（親の年金のみで子が無職、ひきこもり孤立）	74	5.9%	248	5.0%
病気・けが	456	36.3%	1,193	23.9%
認知症	183	14.6%	289	5.8%
住まい（被災者、ホームレス、ごみ屋敷）	56	4.5%	187	3.7%
知的障害・身体障害	67	5.3%	385	7.7%
家庭（家庭内暴力、家庭が不仲）	64	5.1%	182	3.6%
介護（在宅介護が困難）	43	3.4%	1,044	20.9%
近隣トラブル	37	2.9%	120	2.4%
刑余者	5	0.4%	12	0.2%
就労（ニート、失業、就労不安定）	27	2.1%	154	3.1%
権利擁護（虐待、成年後見制度）	15	1.2%	79	1.6%
子ども（家庭での養育困難、不登校、非行）	10	0.8%	13	0.3%
その他	5	0.4%	401	8.0%

合 計	1,275	100%	5,000	100%
-----	-------	------	-------	------

■ 終結件数

複合的課題を抱えた世帯が増え、関係機関につないで終結するという支援ではなく伴走型支援に変化してきている。

	R2	R3
相談実人数	2,771	3,003
終結件数	989	1,329
終結率	35.7%	44.3%

■ 評価と課題

- 1 包括的な相談は地域包括支援センターという相談場所もあり、介護や病気に関する相談が多い。介護不安に加え、経済的困窮や精神障害、就労不安等複合的な課題を抱えた世帯からの相談も増えてきており、終結には時間を要している。
- 2 地域や関係機関に積極的にアウトリーチし、連携していく中で、支援が必要な世帯を早期に把握することができ、世帯状況の改善につながるケースも増えてきた。
- 3 課題解決にあたっては、本人の特性、世帯の状況、社会資源の不足等もあり、思うように社会参加へつなげることができていない。